

2019 年日本熱物性学会第 1 回 (2019-1) 役員会議事録
平成 30 年第 4 回(2018-4)役員会との合同会議

日時:2019 年 1 月 26 日(土) 役員会 14:00~16:15

場所:東京工業大学田町キャンパス キャンパスイノベーションセンター5F 501 室

出席者:(五十音順・敬称略)

上利泰幸 (大阪産業技術研究所)	遠藤理恵(東京工大)
大久保英敏 (玉川大)	小原拓 (東北大)
木下進一(大阪府立大)	熊野寛之(青山学院大)
齊藤敬高(九州大)	佐野吉彦(静岡大)
庄司衛太(東北大)	高野孝義(豊田工大)
田中勝之(日大)	長坂雄次 (慶應義塾大)
長野方星 (名古屋大)	西田哲也(水産大)
羽鳥仁人(ベテル)	東 之弘 (九大カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所)
平澤良男(富山大)	宮崎康次(九州工大)
室町実大(産総研)	元祐昌廣 (東京理科大)
桃木悟 (長崎大学)	森川淳子 (東京工大)
森田慎一(米子高専)	山下雄一郎(産総研)
山田修史 (産総研)	山田盛二(SANTA Baking Laboratory)
山田雅彦(北海道大)	渡邊純一(パナソニック)

審議事項:

平澤会長よりご挨拶があり、森川副会長より配布資料の確認があった。

議 題:

(1) 新旧役員紹介(役員一覧)と前回議事録確認……………資料番号:19-1-1-(1)~(2)

資料 19-1-1-(1)および(2)に基づき新旧役員の紹介・確認があった。また、森川副会長より、資料 19-1-1 に基づき、前回議事録の確認があり、了承された。

(2) 学生ベストプレゼンテーション賞選考結果報告……………資料番号:19-1-2

桃木企画担当理事より、資料 19-1-2 に基づき第 39 回シンポジウムにおける第 16 回学生ベストプレゼンテーション賞(BPA)についての選考結果の報告があった。審査の結果、36 名から 5 名が選ばれた旨が報告された。以下を修正の上、承認された。

誤 北原秀麻史

正 北原秀麻

(3) 第 39 回日本熱物性シンポジウム報告……………資料番号:19-1-3

長野第 39 回シンポジウム担当より、資料 19-1-3 に基づきシンポジウムの報告がなされた。参加者 358

名であり、協力企業 20 社と盛況であった旨が報告された。GS12 は急遽追加した GS であるため、今後の継続は検討が必要である。OS の数が多いが、研究の多様性の観点から維持していく。

また、シンポジウムの収支決算報告と実行委員会からの申し送り事項も示された。以下を修正し、了承された。

- ・「熱物性」への掲載内容「1.はじめに」の講演件数を”155 件”から”161 件”に修正する。
- ・「熱物性」への掲載内容「7.おわりに」の”第 38 回”を”第 39 回”に修正する。
- ・「熱物性」への掲載内容「表 1 セッション構成」の”第 38 回”を”第 39 回”に修正する。また、実際に開催された OS, GS を掲載する。このため、GS4, GS6, GS7 および GS11 を削除する。

(4) 覚書の確認……………資料番号:19-1-4

森川事務局担当副会長より資料 19-1-4 に基づき、学会の運営に関する覚え書の紹介があった。学会の現在の状況に合わせて、確認の依頼があった。

第 1 章運営<1>2. の理事会の構成員に「理事」を追加・修正することとなった。

(5) 平成 30 年活動・決算報告……………資料番号:19-1-5-(1)~(3)

森川事務局担当副会長より、資料 19-1-5 (1)に基づき、学会の第 39 期(平成 30 年)の活動に関する報告があった。続いて、資料 18-1-5 -(2)および(3)に基づき、収支決算の説明がなされた。例年よりも減が多い。少ない収入に対して活動費が多いため、繰越金が減っている。第 39 回シンポジウム交付金の返金は含まれていない。来年度に返金(寄付)される。

以下を修正の上了承された。

・資料 19-1-5(1)の「4. 第 39 回熱物性シンポジウム」のうち、一般講演の GS04, GS06, GS07, GS11 および OS07 を削除し、JS1 および GS12 を追加する。実際に開催された OS, GS を記載することとした。

(6) 2019 年事業計画……………資料番号:19-1-6

森川事務局担当副会長より、資料 19-1-6 に基づき、学会の第 40 期(2019 年)事業計画案の説明があった。第 4 回理事会・第 3 回役員会日程は未定である。

(7) 2019 年予算案……………資料番号:19-1-7

森川事務局担当副会長より、資料 19-1-7 に基づき、第 39 期(平成 30 年)の収支予算に関する報告があった。「創立 40 周年記念企画実行委員会活動費」を「40 周年記念企画事業費」と名称変更しての予算を 100 万円とし、予備費を 90 万円減額する。

・第 40 期予算の[収入の部]8. 前期繰越金を 3,698,007 円に修正する。これに伴い[支出の部]6. 予備費も変更になる。

修正後にメール審議する。

(8) 第 40 回・第 41 回日本熱物性シンポジウム準備状況……………資料番号:19-1-8

桃木シンポジウム担当より、資料 19-1-8(1)に基づいて、第 40 回シンポジウムの準備状況、体制、およ

び今度のスケジュールについての報告があった。また、第1回会告案が示された。10/28(月)～30(水)に長崎ブリックホールで行う。実行委員会への齊藤評議員の参加が依頼され、承諾いただいた。以下を修正の上、了承された。

- ・企業展示にはラウンジの利用も検討する。
- ・クレジットカードの利用は、今回は行わない。
- ・森川副会長より第41回熱物性シンポジウム開催を青山学院大学の熊野先生に依頼し、ご快諾いただいた。

(9) 各種委員会報告……………資料番号:18-1-9-1~5

編集委員会

大久保理事より資料19-1-9-1に基づいて平成30年度の活動報告があった。続いて、田中理事より、平成31年度活動計画が提示された。以下を修正し、了承された。

「熱物性」Vol.33, No.1(2019)のうち、OS7を削除する。馬場先生からの原稿が届いたら「講座」に掲載する。

熱物性値サービス委員会

山田理事より、資料19-1-9-2に基づいて報告があった。

活動委員会

桃木理事より、資料19-1-9-3に基づいて報告があった。

広報委員会

元祐理事より、資料19-1-9-4に基づいて報告があった。平成31年からは、アルバイトを雇ってホームページの維持管理を行う。

表彰委員会

長坂表彰委員会委員長より、資料19-1-9-5に基づいて2018年の報告があった。2019年日本熱物性学会賞の候補募集の原稿が提示された。以下を修正の上、了承された。

- ・1. 受賞対象のB)の2)原則として2年間(2018年8月から2019年7月) ”を” ”原則として2年間(2018年8月から2019年5月) ”に変更する。
- ・7. 提出期限を2018年6月21日から2019年6月21日に修正する。

40周年記念事業実行委員会

宮崎理事より、資料19-1-9-6に基づいて、報告があった。

顧問として高橋一郎先生のご承諾を得た。記念事業は前回報告を訂正し、2020年に開催することが報告された。“にゅーすれたー”はDVDに収録し、冊子には掲載しない。他学会からのお祝いの言葉は、長坂国際連絡事務担当と森川副会長にご依頼のご協力をいただきたい。

(10) 分科会報告……………資料番号:18-1-11-1~3

高温融体と材料プロセス

代理として遠藤評議員より、資料19-1-10-1に基づいて報告があった。

先進材料の熱物性と宇宙システムデザイン

代理として長野理事より，資料 19-1-10-2 に基づいて報告があった。

断熱材の熱物性計測と評価

代理として木下評議員より，資料 19-1-10-3 に基づいて報告があった。「2. 2016 年の活動報告」は「2. 2018 年の活動報告」に修正する。

ふく射性質とその放射制御に関する研究会

代理として宮崎理事より資料 19-1-10-4 に基づいて報告があった。

(11)事務局報告……………資料番号:18-1-11-1～3

森川事務局担当副会長より，資料 18-1-11-1～2 に基づいて，共催，協賛関係，会員異動について報告がなされた。

また小原理事より，資料 18-1-11-3 に基づいて，日本熱科学研究支援機構預かり金について報告があった。

(12)その他

- ・森川事務局担当副会長より，今後のスケジュールの確認があった。

以上